

ふれ
あい
Land
ing



プールでの講座



ふれあいホールでのイベント



体育館での講座

福祉交流施設 ふれあいランド岩手 利用者数が400万人を達成

いつも利用者の視点で

県民の福祉交流施設ふれあいランド岩手が平成6年12月9日に開館して以来、19年4か月となる平成26年4月22日に、利用者数が400万人を達成しました。

400万人目となつたのは、盛岡市社会福祉法人カナンの園の社会就労センター・ヒゾープ工房別館ハピュを利用する三田郁恵さん。この日

は利用者5人が浅沼典宜主任生活支援員と共に体育館利用で訪れました。記念セレモニーでは三田さんや県社協の桑島博会長、県保健福祉部の根子忠美部長らがテープカットで祝い、認定証と記念品を受け取った三田さんは、県社協職員らの祝福を受けて「ありがとうございます」と笑みを広げました。

桑島会長は「今年は開館して20年目を迎えます。ノーマライゼーション理念を浸透させる拠点施設として、これからも県民に親しまれ、地域から愛される施設を目指して運営にあたります」と決意を示しました。400万人目となつた三田さんは、ここ5年ほどは月1回、仲間らと体育馆を訪れ、レクリエーションや運動を楽しんでいます。なかでもバランスポールなどダイナミックな運動が大好きです。

施設では「固形せつけんつるつる」の袋詰め作業に励むがんばり屋さんです。



利用者400万人達成のセレモニー

利用しやすい環境を構築

ふれあいランド岩手（福澤淳一館長、職員30名）は、県社協の組織の多様性と民間ならではの強さを發揮しながら、利用者やボランティアなどの意見・提言を積極的に受け止め、より利用しやすい施設環境を構築しながら、サービスの向上に努めています。

今年度は文化及びスポーツ施設が一体化した優位性を活かし、利用者の視点に立った主要事業として△健康づくりや生きがいづくり△利用者の交流促進△健康や福祉に関する情報提供△ボランティア養成△要望に応じたスポーツ指導員の派遣など、文化関連とスポーツ関連の合わせて47事業を推進します。

具体的には、障がい者や高齢者を中心としたスポーツ・文化教室（講座）を延べ570回、「ふれあいランド祭」など地域との交流イベントを8回、子ども会等へのスポーツ指導も行いながら、各種教室や講座修了者には積極的にボランティア参加を呼びかけています。

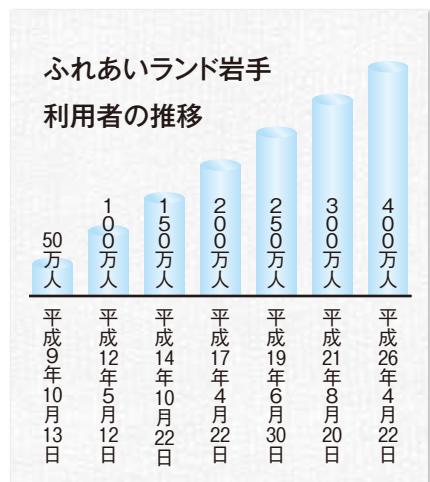
こうした「育成」「支援」「受け入れ」が、より豊かな事業運営を可能にし、県民のノーマライゼーション理念の浸透につながっています。

今年度は開館20周年

平成6年12月9日の「障がい者の日」に開館したふれあいランド岩手は、今年12月9日に開館20周年を迎えます。記念事業には「20周年記念ふれあいランド祭」「20周年記念文化交流会」「記念誌発行」など多彩



400万人目となった三田郁恵さん



導支援を延べ130回、ボランティア養成講座を延べ17回開催することになります。

一方でスポーツ・文化教室の修了者による自主活動も活発です。現在はスポーツサークル（約10団体）と文化サークル（約20団体）が結成され、団体には活動の場を提供しています。また、グループ結成の助言指導も行いながら、各種教室や講座修了者には積極的にボランティア参加を呼びかけています。

な行事を計画しています。

管理指導グループの薄衣和香主査は「常に安全で安心してご利用いただけるよう、利用者の視点に立った接遇を大切にしています。スタッフには専門性の高い指導員やインストラクターが大勢おり、



スポーツ指導グループには健康運動指導士や看護師など専門性の高いスタッフが大勢おり、利用者の健康づくりやスポーツ活動を支援しています



ふれあいランド岩手の受付と管理指導グループのスタッフ

これまでの運営経験と実績、蓄積したノウハウを活かしながら、「おもてなしの心」をもつた接遇と対応の向上に努めたいと考えています。さらに時代にマッチした講座や教室も考えながら、安全で快適な施設運営とサービス向上に努めています。



ふれあいランド岩手
福澤淳一 館長

「おもてなしの心」で接遇・対応

一層創意工夫を發揮してサービスの向上に努め、利用者の増加を図ります」と話しています。なお、ふれあいランド岩手では5年後の平成30年度までに、累計総利用者数520万人を目指しています。

福祉交流施設 ふれあいランド岩手

ふれあいランド岩手は年齢や障がいの有無にかかわらず、だれもが利用できる県民の福祉交流施設です。平成6年12月9日に開館以来、利用者の視点に立った事業展開でノーマライゼーション理念を浸透させながら、本県の福祉交流拠点としての役割を果たしています。

スポーツ施設はプール、体育館、第1卓球室・第2卓球室、陸上競技場、テニスコート、ゲートボール場、トレーニングルーム、アーチェリー場などを備えています。文化施設は会議室、研修室、教養室、ふれあいホール、創作室、陶芸室、音楽室、調理実習室、こども広場などを備えています。

インターネットで保険料試算できます
ふくしの保険 検索

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。



スケールメリットを活かし、
有利な補償と割安な保険料

平成26年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の
事故・紛争円満解決のために！

プラン 1 施設業務の補償 (賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞)

▶補償金額		
賠償事故	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
初期対応費用(期間中)	500万円	500万円
お見舞い等		
事故初期見舞費用(1名につき)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円程度)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (事故で10万円程度) 死亡(重度後遺障害) 100万円(78~100万円) 死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円
利用者傷害死亡事故弔慰金		
利用者傷害事故見舞費用		

保険期間 1年 職種級別 A級

▶年額保険料(掛金)	
定 員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償(B型)	
基本補償(A型) 保険料	+ 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

プラン 2 施設利用者の補償

プラン 3 施設職員の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一緒に契約を行なう団体契約([賠償責任保険]「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険])です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。●

団体
契約者
社会福祉法人
全国社会福祉協議会
(引受け幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン
TEL:03(3593)6433

取扱
代理店

株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(SJ13-12122 2014.2.13 作成)